

平成 23 年 7 月 28 日  
石油資源開発株式会社

## 東日本大震災被災地区での当社従業員ボランティア活動について

当社は、従業員による東日本大震災被災地域での復興支援ボランティア活動に対して積極的な支援を行うこととしていますが、このたびその第一回目の復興支援ボランティア活動を実施致しましたのでお知らせします。

### 記

1. 実施日：平成 23 年 7 月 25 日（移動日程は 7 月 24 日東京発～7 月 26 日東京着）
2. 場所：宮城県本吉郡南三陸町
3. 参加者：当社、当社グループ従業員およびその家族（31 名 男 22 名、女 9 名）
4. 活動内容：南三陸町ボランティアセンターの指導の下、以下の作業を実施。
  - ①公立志津川病院での瓦礫撤去作業
  - ②町内休耕田他での草刈作業
  - ③魚網の整理作業
  - ④コンピュータの復旧作業 他
5. 支援内容：東京からの往復バス、被災地内での移動車両、作業用被服（Tシャツ、作業ズボン）、保安靴、革手袋、宿泊等を提供。  
（北海道地区ではボランティアツアー参加費用）
6. 経緯：当社では夏季節電対策として、7 月 25 日から 8 月末までの間、9 月以降の祝祭日等（6 日間）を振替えることで月曜日を休日とする週休三日制を導入することとしたが、その際、被災地でのボランティア活動に意欲を示す従業員の声を受けて、この 3 連休をボランティア活動に有効利用できるよう、会社としても従業員のボランティア活動への積極的なサポートを行うこととなった。
7. 今後の予定：
  - ①南三陸町でのボランティア活動（作業は月曜日に実施）

2 回目	7 月 31 日（日）～8 月 2 日（火）	45 名	（本社 33 名、秋田 12 名）
3 回目	8 月 21 日（日）～8 月 23 日（火）	約 40 名	予定（本社）
4 回目	8 月 28 日（日）～8 月 30 日（火）	約 55 名	予定（本社および長岡）
  - ②当社勤務者のボランティアツアーによる活動参加  
7 月 29 日（金）～8 月 1 日（月）に実施される民間旅行社のボランティアツアーにて当社北海道鉱業所従業員 11 名が参加（宮城県内での活動予定）

<ご参考>

参加者の声（別紙）

以 上

参加者の声 ～ボランティア活動に参加して～



津波に襲われながらもなんとか回収できた魚網の整理をお手伝いしました。絡まった大きな網を解きほぐして広げ、天日で乾かしたり、散らかったロープ類を整理、処分したりしました。波音が心地良い大変美しい海の風景からは、あの日の惨状はとても想像できません。目の前の牡蠣の処理場は津波で大きな被害を受けた様子で復旧はこれからです。一刻も早く漁が再開できることを祈り現場を後にしました。(男性 51 歳)

JAPEX ボランティア参加者のうち 11 人が志津川病院の瓦礫撤去の作業を行いました。室内は津波で運ばれてきた貝殻や割れた窓ガラスの破片などが泥と混ざって厚く堆積しており、手の付けようがない状況でしたが、懸命な分別作業と泥出しを続けた結果、朝とは見違えるほどに清掃することが出来ました。疲労感の中に達成感を感じましたが、まだまだ気の遠くなるような作業が残っており、今後も微力ながら復興のためのお手伝いをさせて頂きたいと改めて感じた次第です。(男性 28 歳)



「少しでも被災者の気持ちに近づきたい 少しでも被災者の役に立ちたい」そんな気持ちが私をボランティア参加に駆り立てました。私たちのグループ15名は、津波の影響で手入れが行き届かなくなっていた田圃の草を刈る作業で、予定の範囲を刈り終わるのに丸一日かかりました。一日で出来る作業は限られていますが、最後にバスで現場を去るとき、深々とお辞儀される姿を窓越しに見て、本当に来てよかったと感じました。復興した暁には、再びこの地を訪れたいと思います。その時が少しでも早く来ることを願うばかりです。(女性 27 歳)

